

すくすく

たけのこキッズ 第6号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成16年10月14日発行

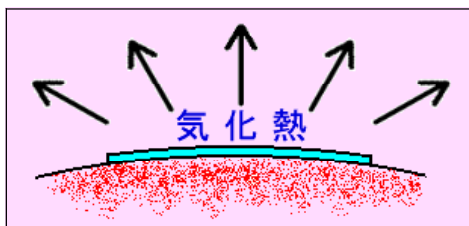
風邪ひきさん 増えてます

祭礼初日は雨が降ったりやんだりでしたが、一転して宮入は秋晴れでした。院長も鼻のてっぺんや首筋がかなり日焼けしました。運動会やお祭りが終わって早速に遠足・修学旅行と、疲れも貯まりがちです。日中は汗ばむ陽気ですが、朝晩は冷え込んできます。寒暖差の大きい季節、風邪が増え始めています。

貼付型冷却剤について考える

ここ10年ほどのうちに急速に一般化した道具として貼付型冷却剤（熱さまシート、冷えピタなど）があります。なぜあんなものでひんやりとするのでしょうか。その秘密はシートの中に含まれている水分にあります。この水分が蒸発するときに奪う気化熱が解熱効果をもたらすのです。ただし、おでこに貼っている限り頭が冷やされ気分が良くなる効果は大きいですが、全身の解熱に関しては効果は乏しい（実際の体温変化を調べた論文もあります）です。こういった批判（？）に対抗するためでしょうか、最近「脇の下用」と銘打った商品も出ています。また頭用の貼付型冷却剤を脇の下に貼っている方もおられます。しかし、これはほとんど意味をなしません。先に書きましたように水分が盛んに蒸発することによって解熱効果が出るのですから、上から服を着ていては蒸発しにくい、すなわちほとんど効果がないというわけです。結論として「貼付型解熱剤は気分を良くする効果については否定しないが、解熱効果は期待薄である」となります。

脇や太ももの付け根を冷やすのであれ



ば、氷などを使わねばなりません。アイスノンなどの保冷剤を利用して良いでしょう。いずれにしても、これらを使用する場合はそれぞれの特性を理解して利用しましょう。なお、今年4月に北海道で、母親が目を離している間に、4か月児に使用していた貼付型冷却剤がずれて鼻孔をふさぐ事故がありました。窒息、呼吸停止状態となり、救急蘇生したものの重度の障害を残す結果となっています。自分の手で払いのけることの出来ない乳児への使用は注意が必要です。

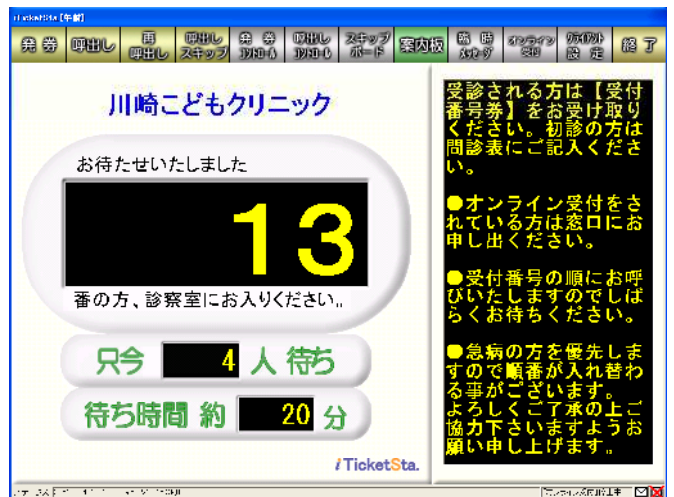
貝塚市休日急患診療所出務

今月は川崎の出務日があります。

10月17日（日）午前10～12時、午後1～4時

アイチケット (iTicket) 導入

冬になると風邪の流行に伴って患者さんが増え、待ち時間が長くなります。待ち時間が長くなれば当然のこと、ほかの患者さんとの間で風邪をうつしあうことも多くなりますので、院内滞在時間を短くすることは小児科診療所としての基本的姿勢と考えています。待ち時間を短くする一つの方法は時間を区切った予約制ですが、小児科のように急性疾患がほとんどの診療科にはなじみにくいものです。そこで、当院では携帯電話やパソコンから登録できる「順番取りシステム」を導入しました。それがアイチケットです。銀行で番号札をとるように、受付で番号札をお渡しします。この



番号は院外からでも携帯電話やパソコンにより取ることができますし、何番まで診療が進んでいるかもわかります。お姉ちゃんの幼稚園のお迎えがあるので、弟の受診をお迎えの前にするか、お迎えの後にするかなども悩まずに済みます。操作方法は当院のホームページ、あるいは受付でお渡しする操作ガイドをご覧ください。なお、順番だけ取ってなかなか来られなかった場合などは来院後もう一度改めて番号を取っていただくこととなりますので、できるだけ順番に間に合うようご来院下さい。

インフルエンザワクチンの予約

当院では1回3000円（税込み）で接種を致します。小児優先で接種を進めていきますが、両親や高齢者の方なども接種できます。接種は10月19日スタートです。13歳以上については1回接種、13歳未満は1～4週間（出来れば3週間以上）あけて2回接種となります。流行が始まる可能性のある12月初めには接種が完了するよう計画して予約して下さい。乳幼児で他の予防接種などと時期が重なる場合などお気軽に御相談下さい。